

謹賀新年

情熱羅針盤
ジャパントラストかわら版



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。昨今の、海運業界においては、

コンテナ船の大型化により、世界各国の港がキャパシティオーバーとなり、各港での混雑による混乱で、荷主の皆様は、その対応に相当ご苦労されたかと思えます。

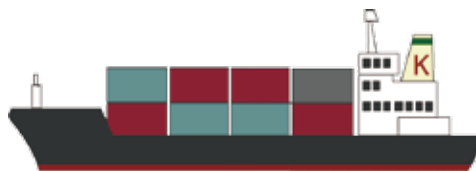
今年も大型船がぞくぞく竣工する予定ですので、引き続き世界の港の混雑は逼迫した状況が続くかと思えます。

また、円安基調が続いておりますが、日本からの輸出が増えることにより、各航路でスペースが急に取りづらい状況になる可能性もございます。予断を許さない海運業界ですが、今年も弊社社員からは、荷主様の悩みを解決できる明るい話題をお届けできるよう、社員一同一丸となってお客様のお役に立てるよう努力してまいります。

今一度、皆様方に更なるお力添えをお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ジャパントラスト株式会社 代表取締役社長 菅 哲賢



ジャパトラマンのぼやき

昨年は、日本を含むアジアから北米に入る貨物がピークを迎え、私たちBOOKING TEAMも経験したことのない状況に多く見舞われました。

例えば、アメリカ西岸港のLOS ANGELES / LONG BEACH, OAKLAND, SEATTLE, TACOMAで起きた、労使交渉問題のもつれや、トラックのスト、シャーシ不足、トラックドライバー不足、輸入貨物増加などが原因で、ターミナルでの貨物滞貨が起き、本船の遅れや鉄道への接続の遅れなどが多く発生しました。昨年の11-12月はどの船会社も、北米向けのスペースが非常に取りづらい状況が続き、朝から晩まで船会社へスケジュールやスペースを確認しながら、お客様へ代替案の提案を行いました。

その努力と、日頃より船会社に対して築き上げた信頼関係の甲斐あって、大きな問題なく無事年を越すことができました。本年度も、皆様のご期待に添えるように頑張っていきたいと思えます。

BOOKING TEAM 堀場・郡司

